



2024年8月2日

各 位

会社名  **新東株式会社**  
代表者名 代表取締役社長 石川 達也  
(スタンダード市場・札証コード、5380)  
問合せ先 取締役管理部長 早川 正  
電 話 0566-53-2631 (代表)

### (訂正)「通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ」一部訂正について

2024年8月2日に開示いたしました「通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ」につきまして、訂正すべき事項がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、2024年6月期の決算数値は変更ありません(訂正箇所には下線を付しております)。

#### 記

##### 【訂正前】

1. 2024年6月期通期個別業績予想数値と実績との差異  
(2023年7月1日～2024年6月30日)

|                          | 売上高   | 営業利益 | 経常利益       | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------------|-------|----------------|
|                          | 百万円   | 百万円  | 百万円        | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)               | 4,616 | 3    | 20         | 5     | 7.07           |
| 実績 (B)                   | 4,521 | △87  | <u>△49</u> | △65   | —              |
| 増減額 (B-A)                | △95   | △90  | <u>△70</u> | △71   |                |
| 増減率 (%)                  | △9.5  | —    | —          | —     |                |
| (ご参考) 前期実績<br>(2023年6月期) | 5,042 | 18   | 55         | 24    | 34.05          |

2. 業績業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高につきましては、国土交通省が発表している建築着工統計調査報告において、戸建の指標である持家着工戸数が前年比で10%近く下落しており、依然として低い水準で推移しております。また、円安・資源価格の高騰による住宅価格の上昇等、引き続き厳しい環境が続いております。当社としましては積極的な拡販に努めてまいりましたが、住宅着工件数の減少が大きく影響し、前回発表予想を95百万円下回る4,521百万円となりました。

利益面につきましては、原油価格高騰による製造コスト上昇や、円安による商品の仕入コスト増加等に対して、販売価格への転嫁を行ってまいりました。しかし、棚卸資産管理コスト削減のため当事業年度において保有棚卸資産の見直しを行った結果、107百万円の評価損を追加で計上することとなりました。その結果、いずれも前回発表予想を下回る営業損失87百万円、経常損失49百万円、当期純損失67百万円となりました。

【訂正後】

1. 2024年6月期通期個別業績予想数値と実績との差異

(2023年7月1日～2024年6月30日)

|                          | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
|                          | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)               | 4,616 | 3    | 20   | 5     | 7.07           |
| 実績 (B)                   | 4,521 | △87  | △54  | △65   | —              |
| 増減額 (B - A)              | △ 95  | △ 90 | △ 75 | △ 71  |                |
| 増減率 (%)                  | △ 9.5 | —    | —    | —     |                |
| (ご参考) 前期実績<br>(2023年6月期) | 5,042 | 18   | 55   | 24    | 34.05          |

2. 業績業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高につきましては、国土交通省が発表している建築着工統計調査報告において、戸建の指標である持家着工戸数が前年比で10%近く下落しており、依然として低い水準で推移しております。また、円安・資源価格の高騰による住宅価格の上昇等、引き続き厳しい環境が続いております。当社としましては積極的な拡販に努めてまいりましたが、住宅着工件数の減少が大きく影響し、前回発表予想を95百万円下回る4,521百万円となりました。

利益面につきましては、原油価格高騰による製造コスト上昇や、円安による商品の仕入コスト増加等に対して、販売価格への転嫁を行ってまいりました。しかし、棚卸資産管理コスト削減のため当事業年度において保有棚卸資産の見直しを行った結果、107百万円の評価損を追加で計上することとなりました。その結果、いずれも前回発表予想を下回る営業損失87百万円、経常損失54百万円、当期純損失65百万円となりました。

以 上